土地収用法を学ぶ

日本補償コンサル協会 九州支部用地補償研修会

日本補償コンサルタント協会九州支部（一瀬英光支部長）は10日、鹿児島市のホテルウェルビューかごしまで13年度鹿児島地区用地補償研修会を開き、官公庁の補償担当職員や各社の用地技術者ら約200人が参加し、土地収用法の改正等について認識を深めた。

研修会では、初めに渡辺泰輔九州支部副支部長が「当協会は公共用地の円滑な取得等を目的に発足し24年が経過した。公共事業は難しい局面を迎えているが、起業者の更なるご支援と自助努力で乗り切りたい。今後も我々は知識の習得を進め、より良い成果品の調達に努めていこう」と挨拶。

また、九州地区用地対策連絡会鹿児島地区代表幹事の直江延明県土木部長の代理で森順郎県用地対策室長も、「社会資本整備の円滑な推進には、事業用地の確保が重要である。しかし、土地所有者の意識の変化等から、用地取得の困難も増している。皆さんと一体となって問題解決に取り組む所存であり、更に研さんを重ねられ、土地補償業務のますますの充実を図っていただきたい」と呼びかけた。

このあと、国土交通省九州地方整備局宮崎工事事務所の末原敏雄用地課長が「土地収用法（法改正の概要）」、㈱松本設計の松本泰夫代表取締役が「照応建物と法令上の改善費用」と題して、それぞれ講義を行った。参加者らは、日々の業務遂行に役立てようと熱心に聴いていた。

熱心に講義を聴く参加者
＝鹿児島市のホテルウェルビューかごしまで

尾波瀬トンネル安全祈願祭

日本最南端トンネル工事が起工

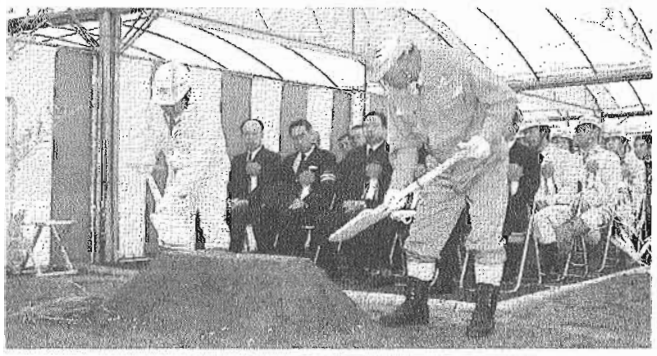
鹿大丸建設（原田大蔵社長、本社・鹿児島市）と三共建設（中島照雄社長、本社・肝属郡田代町）JVは10日、肝属郡佐多町の現地で県大根占土木事務所発注の県単道路整備（交付金B）尾波瀬トンネル工事安全祈願祭を行い、地域住民や建設関係者ら多数が出席、工期中の無事故と早期完成を祈願した。

祈願祭では、祝詞奏上に続き、刈り初めの儀を中村孝県大根占土木事務所長、鍬入れの儀を内山豊己佐多町長、穿ち初めの儀を原田社長、中島社長らがそれぞれ行った後、竹之内隆廣同トンネル作業所長、協力業者を代表して笹島建設㈱大塚永寿氏らが次々に玉串を捧げ、工事の無事故無災害を祈った。

直会では、内山町長が「同トンネル工事においては卓越した技術を持ったJVの業者が安全に工事を進めると思いますが、無事故で1日も早い完成をお願い致します」と挨拶。続いて、施工業者を代表して原田社長が「佐多町のこの現場は、日本最南端のトンネル工事となると思われます。工事においては、安全第一で地域住民の優先と無事故無災害で早期の完成を目指します」と謝辞を述べた。

このあと、乾杯の音頭で祝宴に移り、杯を酌み交わし歓談するとともに、工事の無事故を祈った。

施工場所は肝属郡佐多町尾波瀬。施工は鹿大丸建設・三共建設JVが担当する。



穿ち初めの儀を行う原田社長と中島社長（上）と地域住民優先で工事完成を目指します――と挨拶する原田社長＝佐多町の現地で

会員の団結誓い親睦

県地質調査業協会忘年会

県地質調査業協会（西幸男理事長）は7日、鹿児島市のステーションホテルニューカゴシマで13年忘年会を開き、1年間の労をねぎらった。

忘年会では、西理事長が「21世紀最初の年が過ぎようとしていますが、いまだ明るい兆しが見えません。そのような厳しい現状の中にあっては、会員の団結が不可欠です。今日は、日頃の仕事を忘れ、思う存分楽しんでください」と挨拶。

このあと、難波鹿児島大学名誉教授の乾杯の音頭で開宴、終始和やかな雰囲気の中、会員らが酒を酌み交わしていた。

ゴルフ大会 橋本さんが優勝

また、同日は忘年会を前に姶良郡蒲生町の蒲生カントリークラブでゴルフ大会も行われ、会員らが晴天の中、熱戦を繰り広げた結果、橋本孝教さん（日本地研）が見事優勝した。

同日は、晴天の中午前8時にアウトコース（桜島コース）からスタート、日頃の練習の成果を発揮し真剣に取り組む姿や和気あいあいの雰囲気の中でプレーを楽しんだ結果、橋本さんが優勝した。

主な成績は次の通り。

優勝＝橋本孝教▽準優勝＝宇都達雄（ニチボー）▽3位＝泉忠和（南日本技術コンサルタンツ）▽ベストグロス賞＝橋本孝教▽ドラコン賞＝小林太郎（昭和地下工業）大薗繁（基礎地盤コンサルタンツ）▽ニアピン賞＝的場恭司（日本ジオテック）福元秀一（川崎技術開発）橋本孝教

会員の親睦を深めた忘年会＝鹿児島市のステーションホテルニューカゴシマで

県蔦土工業連合会ボウリング大会

団体は中西組が優勝

県蔦土工業連合会（林民郎会長）は9日、鹿児島市の国際ボウルでボウリング大会を開き、県内各地から会員やその家族ら約80人が参加して親睦を図ったほか、プレー後には蔦職への仕事の誇りを促す講演会も行われた。

大会では、ストライクやスペアを連発する人や、スコアを気にせず和気あいあいと親睦を深め合う人などさまざまであったが、今回の団体戦は4人1組でそれぞれの自己申告したスコアに近いチームの優勝という変則ルールであったため、合計スコアではまずまずであったものの自己申告スコアから8ピン差で㈱中西組チームが優勝を果たしたほか、個人では平原勇二さん（黒潮産業）が37ピンで優勝した。

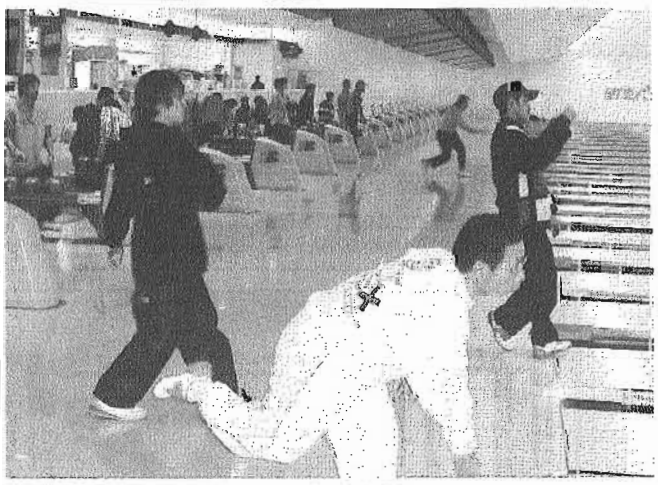
表彰式の前には顧問である森山裕参議による講演会が行われ、自らの体験談をもとに講話。今後を担う若手職人に「蔦職に誇りと自信を持って仕事に従事してほしい」と激励した。

昼食会を兼ねた表彰式では、林会長が「一人ひとりが多くの資格取得を目指して頑張ってほしい」と挨拶。若蔦会の鶴留照美会長の乾杯で歓談に入った。また、表彰式では上位入賞者に豪華賞品が贈られたほか、参加者全員に多数の参加賞が贈られた。

主な成績は次の通り。

【団体の部】優勝＝㈱中西組▽準優勝＝㈲大村産業▽3位＝㈱郡山組

【個人の部】優勝＝平原勇二▽準優勝＝古垣兼広（錦江仮設）▽3位＝下忠重己（同）



和気あいあいとプレーする会員
＝鹿児島市の国際ボウルで

市民とアピールを

大迫 格史さん

我が市は、来年の日韓ワールドカップサッカーのキャンプ地として5月20日から25日の間、前回優勝国フランス代表チームを受け入れます。

誘致活動は岩崎グループが中心となって行って頂きましたが、行政側としても実行委員会を発足し、さまざまな準備に取り組んでいます。

主なものとして、池田湖畔など市内6カ所にフランス国旗をかたどった花壇（6m×9π）を設置するほか、本場の大道芸人を呼んだりワインなどの物産展も兼ねたフランスフェスタや、南九州地域の少年を対象に（仮称）フランス大使杯サッカー大会を開催する予定です。また、大会用のオリジナルアロハシャツの作成も予定しています。

私自身サッカー経験は全くありませんが、市民と一緒に指宿の素晴らしい所を国内外にアピールして、リピーターの定着を図れたらいいですね。

（指宿市企画課）

てぃーぶれいく